



NPO 法人 **熊本 YWCA**

5 月
2021

<http://www.ywca.or.jp/kumamoto>

YWCA は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。

第 2 回 NPO 法人熊本 YWCA 年次総会を終えて 1 年を振り返る



会長 高野和佳子

初夏を感じる程の日も、珍しくなくなってきました。さる 4 月 24 日（土）13 時 30 分より、第 2 回 NPO 法人熊本 YWCA 年次総会を開催いたしました。出席者 18 名（会場：12 名、リモート 6 名）、委任状 22 名、計 40 名で定数を満たして成立いたしました。密にならないようにカフェと 2 階を会場とし、リモート参加の会員と共に総会に望みました。活動報告、活動計画、2021～2022 年度理事会、運営委員会体制の承認をいただきました。決算、予算に関しては、暫定でしか出せていませんので、後日、決算・予算・監査報告を文書にて配信いたします。文書総会の形で審議頂きたいと思っております。

2020 年度はコロナで始まりコロナで終わった一年でした。2020 年 7 月の人吉球磨地方の豪雨災害では、会員以外の方々もたくさん被災地支援グループに参加してくださり、その活動を通して熊本 YWCA も知って頂けました。3 月末には、予定通り「福島・熊本キッズ春のわくわくキャンプ」も、コロナ対策を講じつつ、中止することなく予定通り開催できました。キャンプ地が人吉ということで遠路ではありましたが、例年にない多くの団体、グループの皆様にお出でいただき、特にキッチンは大助かりでした。ご協力に心より感謝申し上げます。「ぷれはぶ Café」も徐々にではありますが、居場所カフェとして定着しつつあります。ただ、もっとランチの売り上げを伸ばすことは、昨年度に引き続き当面の目標です。デリバリーの許可も取りましたので、数がまとまれば届けることも可能です。昨年度より実施しているワールド・カフェも、毎月 1 回程度ですが、人気ですので、是非「ぷれはぶ Café」をチェックしてお出で下さい。もちろんティータイムにもお待ちしております。カフェの事業を軌道にのせていくことは、熊本 YWCA の大きな支えとなりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。総会日の午前中に、会長会が全国の地域 YWCA を繋いで開催されましたが、熊本 YWCA は、多くのユース会員が存在する地域 YWCA として注目されています。これは私たち熊本 YWCA の誇りであり希望であることもご報告します。

最後になりましたが 2020 年度理事会・運営委員会の皆様と、たくさんの苦勞と喜びを共にできましたことと、ご協力に心より感謝申し上げます。また新たな年度も、色々なことが待ち受けているとは思いますが、希望をもって会員の皆様の期待に応えられるよう邁進してまいりますので、よろしく願いいたします。



「福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプ2021」リーダーたちの感想

2021年3月26日～30日の「福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプ2021」に参加したリーダーの感想を一部紹介致します。

【ごーら（日永 伶奈）】



今回は2回目のキャンプへの参加だったので、福島へのお迎え、アイスブレイキング、まとめのプログラムなど様々な役割を任せて頂きました。きちんと出来るのかとても不安でしたが、子どもたちの明るさやリーダーの皆さんの沢山の支えで、私自身も楽しみながら活動出来ました。去年は



新型コロナウイルスにより残念ながらキャンプが出来ず、今年もたくさん話し合いを重ねて、十分な対策をしながら開催する



ことになりました。キャンプ中に、毎年このキャンプを楽しみにしてるから嬉しいという言葉や、楽しそうに活動している子どもたちの様子を見て、春のキャンプを毎年することの大切さや出来ることの喜びを感じました。とても充実していて幸せな時間をみんなと過ごすことができました。参加してくださった方々、ご支援して下さった皆様本当にありがとうございました。



【 AC（渡辺詠志）】

春キャンに参加して、子どもたちと共に遊ぶ楽しさを感じました。新型コロナウイルスの影響でみんなで集まって遊ぶこと自体が困難な中、キャンプファイヤーや竹とんぼ作りなどみんなで遊ぶことが貴重な時間なのだと思います。僕が担当したスタンプラリーですが、準備段階では上手くいくのか不安でした。しかし、実際にやってみると子どもたちはとても楽しんで参加してくれて良かったです。来年も子どもたちが参加して楽しめるゲームを作っていきたいと思いました。



福島と熊本という遠い距離にある県ですが、これからも交流を続けることでより多くの体験ができ、そして楽しめるキャンプになるようにこれからも頑張りたいと思いました。





【あどぼ (岩元夏紀)】



今回、初めて春のキャンプに参加して、福島からきた子ども達と熊本の子どもが徐々に打ち解けていく姿に感動しました。子ども達は初め、キャンプに参加するにあたり、わくわくドキドキ、不安も感じている様子の中、毎日3食同じ釜のご飯を食べ、同じ部屋で寝たり、お風呂に入ったり、ゲームや遊びを経験していく中でお互いのことを理解し合っ、違いを認めたり、個性を見つけて楽しむことができるようになっていたようでした。輪に入ろうとしなかった子も自分より年下の子どもから関わりを求められることで自然と輪に入り、最後には輪の中心にいたこともありました。天気も良く、外でのびのび遊んだり、外でご飯を食べることも多く、桜や菜の花、椿などを見ながら皆で季節を感じる喜びを共有し合ったことも楽しい思い出となりました。充実した5日間になって良かったと思っています。



【ぴこ (中村綺羽)】

私は以前、福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプにルーテルアワーというものにルーテル学院高校の生徒として日帰りで参加したことがあります。全日参加したのは今回が初めてです。私は1日目のアイスブレイクをごーらとびすこと3人で担当でした。準備の段階から上手く進めることができるか不安でしたが、他のリーダーからのサポートのおかげで無事に終わることが出来ました。その後の2日目からは不安から解放され、キャンプに参加してる子ども気分を楽しみました笑 スタンプラリーや陶芸、自由時間に子どもたちと遊んだこと、キャンプファイヤーなど。沢山の思い出が出来ました。私は虫が嫌いです。キャンプ場にはカエルなどの沢山の虫がいました。私の次回のキャンプまでの目標は虫の克服です！楽しい思い出をありがとうございました♪



【びすこ (足立あゆみ)】



こんにちは、びすこです。今年キャンプでは初めて全日参加したのですが、5日間とても楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。子どもたちと一緒にしたゲームやおしゃべりはどれも本当に楽しかったです。特にクラフトデーの竹とんぼ作り(または陶芸)や最終日のおはなし作りでは、好きな絵や形を作ったり、みんなと話し合っ一つの作品を完成させられたことがとても嬉しかったです。また、場所が元小学校だったことも重なって、自分も小学生に戻って、遊んだり、時に授業に参加しているような、懐かしい気分になりました。また来年も参加します。はりきって楽しいゲームを考えてきますので、楽しみにしてください！一年後、再び皆さんに会えるのを楽しみにしています。





【じゃむ (堀 綾夏)】

去年はコロナの影響で開催が叶いませんでしたが、今年は無事にキャンプを行うことができました。コロナ禍での開催ということもあり、感染対策のことも考えつつ準備をしなければならず、例年とは違った大変さがありました。今年の仕事の関係もあり、全日参加することはできませんでしたが、2泊3日子ども達と一緒に過ごせてとても楽しかったです。

なかでも自分の担当だったスタンプラリーでは、子ども達が班のみんなと協力しながら、とても楽しそうな姿を見せてくれて、いろいろと考えながら準備してきて本当に良かったと感じました。また、このような状況だからこそ、幅広い世代との交流や集団での活動を通じて、成長していく子どもたちに寄り添えたことがとても嬉しく思えました。たくさんのパワーをもらったキャンプでした！ありがとうございました^^



【まっきー、まる (坂本真紀)】

今年東日本大震災から10年、春キャンは第6回目(7年目)でした。今回のキャンプは、多くの人とその想いが繋がっていることを強く実感しました。このキャンプは、私たちの先輩ユースから始まりました。先輩方からのバトンを引き継ぎ、私たちも一生懸命続けてきました。そして徐々に新しいメンバーや、小学生でキャンプの参加者だった子たちが中学生・高校生リーダーとして参加してくれるようになりました。前回まではリーダーだった私は、今回シニアたちに混じって食事班になりました。こんなに早く食事班になるなんて…と少しの寂しさと、私たちが持っていたバトンが次に渡っているのだという嬉しさがありました。また今回は、今までで一番多くの方からのご支援をいただきました。ありがとうございました。改めてこのキャンプは近くにいる方、離れた場所にいる方、卒業された先輩方…と、多くの方の想いの詰まったものであると感じました。今から来年が楽しみです！来年もよろしくお願いいたします。



【ゆっきー (金内優希菜)】



春のわくわくキャンプ、無事に終わることができ、本当にありがとうございました。昨年のキャンプ開催は、新型コロナウイルスの感染拡大により春開催を見送り、夏に延期をしたもののやむなく断念をしました。その決断から今回の開催に至るまで、リーダーとスタッフたちは委員会を重ね話し合いを行ってきました。そして、悔しさを抱えながらも、前向きに捉え子どもたちの為に頑張って準備を続けてきたリーダーたちの姿はとても大きくみえました。キャンプ当日は春の温かい日差しのなか、福島と熊本の子もたち、リーダーが遊んでいる・・それを見守るリーダーがいる・・スタッフの方々やボランティアの方々を作ってくださいご飯のいい匂い・・大切な時間でした。来年のキャンプの開催に向けてCosmopolitan委員会頑張ります。



春キャンプ・・もう一つのご報告

今回も会員だけでなく、多くの方がお手伝いに来てくださいましたので、ご紹介させていただきます。(敬称略・順不同)

逢桜の里 COCO-DINING☆mama (逢桜の里、たくとう地域食堂、楡木子ども地域食堂なごみ、ほがらか食堂、みんなの食堂)、熊本 YMCA 阿蘇キャンプ、ルーテル健軍教会女性会、熊本草葉町教会、熊本 YMCA 花陵会、高野けい、高野浩一、淵本恵美、岩崎貴紀、大柿長幸(竹とんぼ指導)、高場英二(陶芸指導)

食事班や送迎、物品の運搬スタッフとして働いた YWCA 会員もご紹介します。(敬称略・順不同)

永尾佳代、高野和佳子、小野小夜子、江崎啓子(センターと空港間の送迎)、松岡郁子(おやつ差し入れ)

ご寄付もたくさんの方からいただきました。ご支援や応援をいただいた皆さま、ありがとうございました！(坂本真紀：記)



ルーテル便り

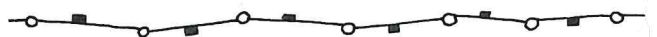
YWCA・YMCA クラブ顧問 野口 若菜

新しい学年がスタートしました！4月5日に始業式、6日に入学式が行われ、私たちの部活動は13日(火)から始まりました。新1年生のためにポスター作製を行いました。今年もうれしいことに、新入部員を迎えることができました。これから一緒に活動していくことをとても楽しみにしています。今年も中学生の部員も迎えることができました。私たちの活動の幅が広がることを確信しています。4月17日にはユニセフ熊本協会の活動に参加する機会がありました。今年の8月の「アフリカのこどもの日」に向けての学習会が始まっています。これから定期的に準備会に参加することで、深い学びを得ることができることを期待しています。4月は新しく環境が変わった人も多ですが、YWCA・YMCA クラブも新入部員とともに、新たなスタートの月になりました。今年度もたくさんの方にチャレンジしていきたいです。



2021年度 World Café 第一弾！～ベトナムフェア～

昨年好評だった World Café、これは、各国・各地域の文化にルーツや縁を持つ方々に、キッチンシェフになっていただきその味を楽しみつつ、文化紹介や交流も目指そうというものです。さらに独立行政法人医療福祉機構(通称 WAM)のご支援によりコロナ禍の影響を受けた留学生や学生支援もできるようになりました。さて、21年度第一弾の WorldCafé は、ベトナムです！特に今回は、ベトナムフェアと称して、JICA やコムスタカと協力して、連続イベントを行います。期間は5月19日から29日まで。期間中 JICA 支援によるベトナムコーヒーとお菓子セットが無料で楽しめます。また、ベトナムの文化紹介や、雑貨も展示・販売します。目玉は、19日から26日まで連続でベトナム料理が出ること！毎日違ったベトナム料理を楽しむことができます！今回、単なるベトナム料理を楽しむ会ではなく昨今問題となっている技能実習生制度の現状や問題点についてのパネル展示も行います。残念ながら、技能実習生問題が注目されるようになったきっかけの一つがベトナム人女性の妊娠・自宅出産(死産)の事件報道です。詳しくはコムスタカのウェブサイトをご確認ください(<http://www.kumustaka.org/>)。実は全国に同じような問題に直面している技能実習生の女性が沢山います。過酷で不平等な制度下で勤務先からあてがわれた住宅に暮らし、不慣れな日本では様々な制限があります。そしてその多くが借金を抱えて来日し、一生懸命働こうとするのです。同時に一人の若い女性であり人間として生活する中、時には恋もします。しかし、現在の技能実習生制度は、実習生を使い捨てる労働力としてみただけで人間として夢や希望そして将来を持った存在だと想定していません。実習生のリプロダクティブライツへの配慮も全くありません。妊娠したら働けなくなる、と信じている実習生が沢山います。実質的に安心できる相談窓口もほとんどありません。技能実習生制度については多くの課題がありますが、熊本 YWCA としては正しい情報提供や相談受付の窓口として Facebook(<https://www.facebook.com/ReproductiveRightsJapan/>)を、そして啓発活動の一つとして今回のベトナムフェアを実施します。是非色々な方に告知をお手伝いください。(吉村：記)





5月・6月の予定	
5月16日(日)	米米クラブ 
5月22日(土)	中央委員会
5月29日(土) 15:00~17:00	ジェンダーカフェ
6月2日(水) 13:30~	新聞印刷
6月5日(土) 14:00~16:00	リサイクルバザー

今後の予定
・毎週土曜 10:00~12:30 なかよしクラブ
・毎月第1土曜日 14:00~16:00 リサイクルバザー


【4月運営委員会報告】

報告

- 1、会計報告
- 2、各委員会報告
- 3、熊本県南部豪雨災害支援
- 4、職員動向

審議

- 1、中央委員会議事議案への提案
→【提案】日本Yに支払う会費について。会員1700円を一律とせずユース枠を設ける。
- 2、熊本YWCA総会について確認
- 3、来年度活動計画について
→WAM助成



熊本YWCAオリジナルTシャツ 販売中!!!

サイズ:S・M・L ※XLサイズが売り切れしました。

1枚1800円。オーガニックコットンを使用しているTシャツで肌触りが最高です！

ご注文承っています！！お問い合わせください！




【ボランティア保険加入のご案内】

ボランティア保険に加入をご希望の正会員の方は事務局まで下記の内容についてご連絡ください。
(氏名、住所、電話番号、性別、年齢)

【2021年度運営委員紹介】

第57期運営委員を務めてくださる皆さんです。どうぞよろしくお願いいたします。

高野和佳子さん、宮下愛さん、海北由希子さん、斉藤未緒さん、
金内優希菜さん、堀綾夏さん、宇都宮夢さん、松元玲子さん

そして、第56期運営委員を務めてくださった、栗原希代子さん、小野小夜子さん、坂本真紀さん、俵恭子さん。ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！



【今月の会員さん紹介～宇都宮 夢さん～】

こんにちは。4月から会員になりました宇都宮夢です。

ニックネームは、「ちゃお」です。2年前の春キャンからYWCAの活動に参加しています。大学最後の年なので学生生活を大切にしながら、Yの活動も楽しく頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

NPO法人熊本YWCA
〒860-0862
熊本市中央区黒髪2丁目27-21
TEL/FAX : 096-346-3419
e-mail: kumamoto.ywca@gmail.com
郵便口座 : 17130-17993791
開館日 : 火曜日～土曜日
10:00～17:00
閉館日 : 日曜・月曜・祝日

ご支援・ご協力ありがとうございます。

■寄付(2021年4月1日～2021年4月30日)敬称略・順不同

- ・熊本YWCA
江崎啓子、小野小夜子
- ・留学生支援募金
松本玲子
- ・福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプ2021

総額498,119円のご寄付をいただきました。たくさんのご支援・ご協力をありがとうございました。また、来年3月の開催に向けて頑張ります！！

